

神は私たちを愛しておられ、個人的に神を知ることができるように、私たちを造ってくださいました。

### 神の愛

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは彼を信じる者が、一人として滅びることなく、その命を持つためである。」(ヨハネ3:16)

### 神の計画

「その永遠の命とは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストを知ることです。」(ヨハネ17:3)

では、私たちが神を知る上で、妨げとなっていることは何でしょうか？

人には**罪**があり、神との間に深い**断絶**があります。そのため、神を知ること、神の愛を体験することもできなくなっています。

人には罪があります

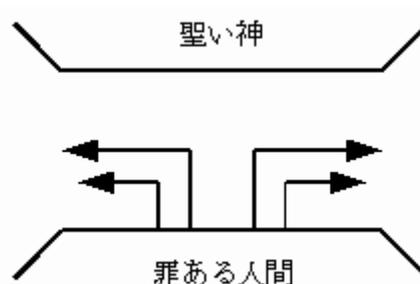
「すべての人は罪を犯しており、神のすばらしさには到底及ばない。」

(ローマ3:23)

人は本来、造り主である神と交わりのできる存在として造られました。けれども、神の命令に背き、神から孤立した、自分な道を歩むことを選びました。その結果、神との交わりが壊れたのです。聖書でいう「罪」とは、神に反逆したり、神を無視する、人の「自己中心」のことです。

人には神との深い断絶があります

「罪から来る報酬は死(神との霊的な断絶)です。」(ローマ6:23)



この図は、神が聖らかで人が罪深いことを描いています。両者の間には大きなへだたりがあります。矢印は、良い行い、哲学、宗教といった人間的な努力でどうにか罪を克服してよい人間になろうとしている姿を描いています。しかし私たちは一度としてうまくいった試しがありません。

次の第三のポイントが、この溝を埋める唯一の道について説明しています。

人の「罪」のために、神が用意してくださった**唯一の解決**が、イエス・キリストです。私たちは、イエスを通して、神を知の愛を体験することができます。

イエスは、私たちの身代わりとして死なれました。

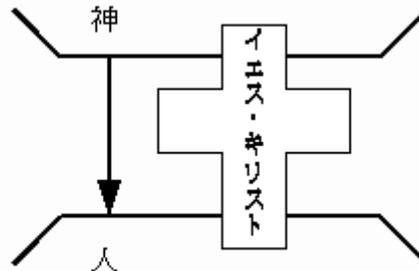
「私たちがまだ罪人であった時、キリスト(イエス)が私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにされました。」(ローマ5:8)

イエスは、死から復活し、多くの目撃者がそれを証言しています。

「キリストは... 私たちの罪のために死なれ... 葬られ... 三日目によみがえられ... ベテロに現われ、それから十二弟子に現われ... その後、500人以上の人々に、同時に現れました。」(第一コリント15:3~6)

イエスは、神に至る、ただ一つの道です。

「私が道であり、真理であり、命なのです。私を通してでなければ、誰一人、神のもとに来ることはありません。」と、イエスは言われました。(ヨハネ14:6)



この図は、神と人との間にある溝を埋めるために、神がしてくださったことを表しています。神は、ひとり子、イエス・キリストの世界に送られました。そして、本来私たちが、自分の罪のために受けるべき死の刑罰を、イエスが、十字架上で身代わり受けてくださったのです。

これらの事実を知るだけでは十分ではありません。次の事はもっとも大切です。

私たちは、それぞれ**個人的に**、イエス・キリストを、罪からの救い主、人生の導き手として**迎え入れる**必要があります。そうすることで、私たちは個人的に神を知り、神の愛を体験できるようになります。

私たちは、イエスを迎え入れる必要があります。

「しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子供とされる特権をお与えになった。」(ヨハネ1:12)

私たちは、信仰によって、イエスを迎え入れます。

「あなた方は、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは自分自身から出たことでなく、神からの賜物(プレゼント)です。行いによるものではありません。誰も誇ることはないためです。」(エペソ2:8~9)

私たちは、イエスを迎え入れる時に、新しく生まれ変わります。

(ヨハネ3:1~8参照)

私たちは、一人一人の決断によって、イエスを心に迎え入れるのです。

「見よ、私(イエス)は戸の外に立ってたたずむ。誰でも、私の声を聞いて戸を開けるなら、私は彼のところに入り、彼と共に食事をする。」(黙示録3:20)

イエスを迎え入れるとは、まず、自己にばかり向いていた心を神に向き変え(悔い改め)、次に、自分の心に来て下さり、の罪を赦し、あなたを造り変えてくださるイエスに信頼することです。イエスが神の子であり、私たちの罪のために死んでくださったことを、頭で理解するだけでは十分ではありません。また、どんなに感情に強く訴えるものがあっても不十分。私たちは自分自身の意志で、イエスを信じ、迎え入れる決断をしなければなりません。

次の二つの円は、二つのタイプの人生を表しています。



### 自己中心の生活

**自分:** 自分が心の王座を占めている。

: 生活の諸要素。自分が支配している時は混乱し、目見失う。

: キリストは心の外にいる。



### キリスト中心の生活

: キリストが心の王座を占めている。

**自分:** 自分がキリストに従う。

: キリストに支配される生活は調和を保ち、真の目的を持っている。

あなたは、今、どちらの人生を歩んでいるでしょうか？

あなたの人生として、どちらの人生を、望みますか？

イエスを迎え入れるには次のようにします。

**あなたも今、信じて祈ることによって、イエスを個人的に迎え入れることができます。**

(祈りは神と話すことです)

神は、あなたの心を知っておられるので、あなたがどのような言葉で祈るかよりも、どのような心で求めているのかを見らる。イエス・キリストを迎え入れるのに、以下のような祈りをお勧めします。

イエス様、私はあなたを個人的に必要としています。私の罪のため、身代わりに死んでくださりありがとうございます。私は今、心の扉を開き、私の罪からの救い主、人生の導き手として、あなたをお迎えします。私のすべての罪を赦し、永遠の命を与えてくださりありがとうございます。私を導き、あなたが望むような者に、私を変えてください。

この祈りは、あなたの心の願いを表しているでしょうか？

もしそうなら、今、祈りましょう。

イエス・キリストは約束通り、あなたの心に来てくださいます。

今、上の祈りを祈って、イエスを自分の心に受け入れましたか？

今、祈り

ました。

Copyright © 1995-2016 Campus Crusade for Christ International